

2022年3月21日

2030年頃を視野に入れた新しい教養教育の展望 (概要)

プロジェクトAAF 主宰 松原伸一

標語 「情報学教育」の定着から「新教養教育」としての飛翔へ

趣旨 昨今ではお陰をもちまして、情報教育は情報科教育・情報学教育へと幅が広がり定着しました。この度の学習指導要領の改訂にも見られるように、プログラミング教育、数学教育（統計教育）の重要性が話題を呼んでいます。そこで、プロジェクトAAF (PJT-AAF, pjtaaf) では、情報メディア教育を「新しい教養教育」として位置づけ、「感性に響く教養教育」を提案しています。詳しくはWebサイト及び下記の文献^(1,2,3)を参照願います。

新教養教育のK-12コア・フレームワーク

※主に著書⁽¹⁾の第3章（特に、ユニット3-1, 3-2, 3-3, 3-4, 3-5）をベースに検討した結果です。

学校	教科名(例)	概略
小学校	情報メディア	過去の研究成果 ⁽⁴⁾ と、研究開発学校指定（小学校）の研究「メディアコミュニケーション」等の実践をベースに検討
中学校	情報	過去の研究成果 ⁽⁴⁾ と、研究開発学校指定（中学校）の研究「情報科学学習指導要領案」等をベースに検討
高等学校	情報	過去の研究成果 ⁽⁴⁾ をもとに次の枠組みを提案 情報Ⅰ、情報Ⅱに加え、情報Ⅲを新設し、さらに、 情報A、情報Bを再設置して、 計5科目編成に（情報Ⅰと情報Aは必履修）
(参考)		
大学等	—	既に導入済みの大学が多数見受けられる。 さらに、「感性に響く教養教育」に再編成する。

文献

- (1) 松原伸一「ソーシャルメディア社会の教育～マルチコミュニティにおける情報教育の科学化～」開隆堂、2014年9月10日発行、ISBN978-4-304-04202-7
- (2) 松原伸一「人間性に回帰する情報メディア教育の新展開～人工知能と人間知能の連携のために～」開隆堂、2020年2月28日発行、ISBN978-4-304-02173-2
- (3) 松原伸一「芸術とコンピュータ～感性に響くICT超活用」開隆堂、2021年7月10日発行、ISBN978-4-304-02186-2
- (4) 多数あるので、上記以外は、過去の発行物を参照願います。 <https://pjtaaf.com/publist.pdf>